

# DOYU IBARAKI



発行:茨城県中小企業家同友会  
〒310-0851 水戸市千波町1918 茨城県総合福祉会館3階  
Tel:029-243-8230  
Fax:029-243-7225  
Mail:info@ibaraki.doyu.jp

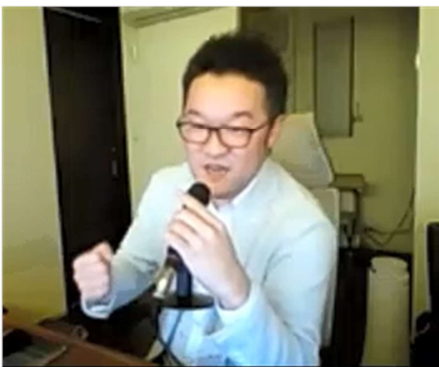
## 令和3年新年賀詞交歓会



(中野 愛一郎さん)

2021年新年賀詞交歓会の記念講演が、1月26日に開催されました。本来であればリアル会場で開催し、オンラインにも配信するハイブリッド開催を予定しておりましたが、緊急事態宣言の再発令を受けて、オンラインに一本化して行われました。今回の記念講演では、奈良同友会副代表理事である(株)イベント・トゥエンティ・ワンの中野愛一郎さんをお迎えして開催しました。本来であれば、中野さんに、奈良から茨城にお越しいただき、熱量MAXでご講演をしてもらう予定でした。我々例会委員会にはどうしてもそれを成し遂げたい理由がありました。それは、3年前に中野さんに講師としてお越しいただいた賀詞交歓会が大雪で中止となってしまったからです。中野さんは、そこに集まることの出来た数名の前で講演をしてくださいました。そこで初めて中野さんの経営実践を目の当たりにして、中野さんのお話をもっともつと沢山の人に、この人を目の前にして体感して欲しいと思いました。今回はそのリベンジになるはずでした。しかし、新型コロナウイルスの感染拡大で残念ながら、リアル会場での講演は叶わなくなりました。

しかし、中野さんはオンラインでも変わらずパッション全開でお話をしてくれました。中野さんのご報告は誰にでも理解しやすく、毎回大きな気づきを得ることができます。外部環境が変化してから行動に出るのではない、普段からきちんと経営指針に沿った活動をすることで、強い会社をつくり、どんな環境変化にも対応できるのだということを改めて教えていただきました。経理理念である「you happy we happy」や「物心両名の幸福」「ハッピークリエイティブ業」など、私は個人的に考え方が大好きで中野さんのご報告のメモを何度も見て徹底的にパクらせていただいております。今回も中野さんのパッションを全身であびて明日からやってみようという高揚感で満たされております。Happyクリエイティブ業の中野さんの本日のご講演の目的は、今回参加された皆様が『今日は来てよかった！ 自社を良くするヒントを得られた』と思ってもらえるようなhappyな報告をすることでした。



画面を通して中野さんのパッションが伝わり、今回Zoomでの開催でしたので皆様に想いが伝わったと確信しております。私は、3年前にご報告をお聞きして、私とそんなに年齢が変わらないのにこんなにも会社を成長させている経営者が同友会にはいるんだと、とても驚いたことを覚えております。実は、私のパソコンには中野愛一郎フォルダーがあるんですが、3年前のメモを見ているとインプット3:アウトプット7の文字がしっかりとメモしてありました。私は4年前に同友会で経営指針を作成し事業継承し、当時経営者歴1年目のことでした。中野さんのご報告をお聞きし、自分の知識ばかりを成長させ、全然アウトプットしていないことに気がきました。それと同時に、それが改善できれば会社も成長できるんだと素直に信じてことができました。そんな私の会社もコロナ禍により創業20年ははじめて以来の大赤字、でしたが24歳の社員との出会いがあり昨年8月に初めて社員を雇用することができました。3年前にアウトプットの重要性を教えて頂いた中野さんには心から感謝しております。

今回愛一郎さんには、同友会の仕組みとは主体者を増やす環境づくりですと教えていただきました。同友会の魅力の一つに三位一体の経営という言葉があります。ちなみに三位一体の経営とは経営指針、共同求人、社員共育で三位一体です。一番重要な経営指針の中には理念・ミッション・ビジョンも含まれ、「you happy we happy」や「物心両名の幸福」「ハッピークリエイティブ業」や絶対に会社を大きくしてニューヨーク支店を建てる、自分の代に社長を10人つくるなど、企業の魂となる使命感に満ちた目的存在意義は、主体者を増やす環境づくりにはかかせません。そして経営者として覚悟を決めたときから主体者が一人生まれ、その想いは三位一体の経営で着実に人数を増やし、間違いなく1年後、3年後、5年後、10年後の会社の未来を進化させ、突然の時代の変化でも動じないような強靱な経営体質の企業へと成長することでしょう。

今回中野さんのお話をお聞きいただいた皆様には、ぜひ明日からもう一度、理念、ミッション、ビジョンなど、企業の魂となる使命感に満ちた目的存在意義を再確認してもらい、真剣に次代の需要に合わせたビジネスモデルを再構築し、みんなでコロナという荒波を右肩上がりの高波に進化させて行きましょう！

(座長:鈴木 達也さん)



# 1月例会報告

## 日立支部



1月13日(水) zoomにて  
 報告者:大神田 正浩さん (株)多賀工事社 代表取締役  
 『やりきった先に見えた 本業の〇〇』

1月例会は、コロナ禍による非常事態宣言が発令される中、完全ZOOMによるリモート例会として行われました。今回も「事業定義」といったテーマのもと、水道・ガスと言ったライフラインを扱う(株)多賀工事社の大神田さんにご報告いただきました。まさに社長自身の考え次第で、こんなにも成果が出るものなのかといった好例になるご報告でした。

大神田さんは自社事業を「礎業(いしずえぎょう)」にとらえ直すことで、このコロナ禍でも、多くの同業者が嫌がる難事業を次々と入札し、公共事業だけでも前年比3倍もの受注獲得に至っています。「礎業」としての思いは、社長自らが、「ご依頼には対しては全力で解決に挑む」といった姿勢に現れ、難しい課題(難事業)にも果敢に挑

戦する社風となっていると言っておりました。現場での難事業における課題クリアの達成感が、さらなる難事業への挑戦意欲となる好循環を社内に生み出し、事業を飛躍的に好転させるといった事例報告でした。

「中小企業は社長が99%」と言われたりします。まさに社長の考え一つでこうも変わるのかといった好例となる内容でした。私自身は、大神田さんのご報告から、「現在の閉塞感や壁は、自分自身が勝手に作り出しているものであり、事業定義についてあらためて考え直してみることで乗り越えられるきっかけになる」という事を学びました。

参加した多くの会員が私のようにそれぞれ気づきを得られた、2021年最初の素晴らしい例会になったのではないかと考えています。(レポート:内山 庄栄さん)

## 第21期経営指針を創る会プレ発表会

第21期経営指針を創る会のプレ発表会が1月16日(土)に開催されました。緊急事態宣言の再発令を受けて、初の完全オンラインでのプレ発表会となりましたが、今期は新型コロナウイルスの感染拡大によって、創る会も10月からのスタートとなり、オンラインによるプレ講座・面談・合宿を経て、新しい形での開催となりました。オンラインでの難しさも感じつつ、各グループの委員・OBがサポートをしながら、受講生一人ひとりが悩み、苦しみ、壁にぶつかりながら、創り上げた理念とビジョンを発表しました。理念や将来のありたい姿について発表後、受講生の会社の社員のつもりになって聞いていた委員やOB、参加者からの感想やアドバイス、講師によるフィードバックが述べられ、受講生にとって新たな気づきと今後に繋がる学びあいの場になりました。

プレ発表会を終えて、いよいよ2月からは活動方針・計画の策定に入ります。コロナ禍のような急激な外部環境の変化にも対応していく強い会社を作るため、そしてビジョンを達成するため、自社の現状を分析しながら、目的地へ向かう具体的な道筋を描いていきます。



会員は辞書の1ページ  
 茨城同友会会員数  
**295名** 2月9日理事会時点

支部	日立	県央海浜	水戸	南西	県西	ドラゴン
会員数	36	27	111	64	27	30